

施

世

界

ガバナー月信

Vol.5

2002.11.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yono.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨



11月はロ-タリ-財団月間です

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
ロ-タリ-財団月間によせて	7
I・M開催報告	8
委員会報告	12
新会員紹介	14
出席報告、11月の予定	18



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
「ロータリー財団月間によせて」

2840地区

ガバナー 矢野 亨

地区大会のお礼

去る10月19、20日、桐生市で開催されましたRI第2840地区の地区大会が、地区会員一同のご協力によって無事成功裡に終了いたしました。改めて、心から厚く感謝申し上げます。

11月はロータリー財団月間です。

1928年ミネアポリス国際大会で正式にロータリー財団が発足いたしました。以来80年ロータリー財団は地域レベル、全国レベル、国際レベルでの人道的、教育的、文化的交流のプログラムを通して、世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援してきました。

特に国際親善奨学金、マッチンググラント、GSE、ポリオプラス等の実績は高く評価されております。

2000年から始まったCAPは一地区10000米\$という制限はありますが、地域還元の意味でも大きな期待が寄せられています。

しかし、シェアシステムの方は、WF40%、DDF60%の割合が変更されて近く50%づつになる予定です。

本年度、RI第2840地区の教育的分野では一学年3名、マルチイヤー(2年)2名で、計12,300米\$があてられています。人道分野ではマッチンググラント20,000\$、WCS助成3,000\$、ポリオプラスパートナー13,000\$、災害救済10,000\$となっております。

これらは2年前の寄付金に応じて配分を受けますが経済不況を受けて年々財団寄付金の減少が見られております。

日本は一人当たり財団への寄付額は、最高を維持しておりますが、地域でこのシェア配分を有益かつ十分に使用しなければなりません。また、一方で肥大化し、複雑化したロータリー財団の機能をもう一度見直して簡素にすべきであります。

ロータリーの奉仕と地域福祉 (其の四)、11月号。

ロータリーの奉仕活動と「福祉」とは切り離せない密接な関係があります。したがって私に与えられたガバナー月信のスペースを利用させていただき、わが国の「福祉」について、その歴史的基盤から、その現状から展望について述べるのも無駄なことではないとおもいます。医療と福祉はもとより大変関連が深いのですが、私は医師でもありますので、私の福祉論は、勢い医療の立場からのアプローチとなりますことをご理解いただきたいと思います。また、私の関係する大学の講義の内容と一部重複しますがご容赦ください。ロータリアンの皆様が気楽に目を通していただけるようなスタイルを心がけるつもりです。

わが国現代の福祉政策の源流

わが国の社会保障制度は、ご存知のように4つの大きな項目からなっています。それは1.年金などの所得保障、2.医療保障、3.公衆衛生、4.社会福祉であり、その根拠は1950年の政府の「**社会保障制度に関する報告**」に由来しています。私たちのロータリー活動、特に奉仕の実践活動を考えるとき上記4項目のうち、2、3、4、が関連があり、中でも4の「福祉」に対する寄与がわれわれの『奉仕活動』と密接な関連のあることは疑う余地もありません。

そこで、とりあえずわが国の福祉政策の流れを考えてみたいと思います。歴史的には律令制度の中にも福祉の概念は盛り込まれており、その後の歴史の歩みの中にいわゆる「福祉」は決して埋没されてはいないのですが、それについては別の折に西欧諸国のそれと比較しながら論述してみたいとおもいます。ここではとりあえず近々50年太平洋戦争に敗北し連合国に占領されアメリカの進んだ『福祉』が占領政策として取り上げられた前後からの観点を視軸として述べてみたいと思います。



西欧においては、18世紀のドイツ(プロイセン)にすでに福祉国家(Wohlfahrtsstaat)という概念がありましたが、これは富国強兵による繁栄を目指したもので現在の福祉と合致しません。われわれの求める福祉は、あくまで民主主義のもとでよりよい国民生活を保障するものでなくてはなりません。

戦後わが国の社会福祉政策の原点は勿論、かの有名なイギリスの、**ベバリッジ報告「社会保険および関連サービス」(1942)**にあることをご承知のとおりであります。この論文の内容は一言で言うならば、全国民を対象に完全雇用、医療国营、児童手当、などを前提とし、年金給付の均一化等社会保険制度を整備しさらに公的扶助を任意保険で補足しようとする画期的なものでありました。太平洋戦争最中ではありましたが、戦後の国家再建の貴重なプランとして欧米各国で取り上げられることになるのですが、わが国でも前述しましたように**戦後の社会保障制度構築の根幹**となったわけです。

これについては、面白いエピソードがあります。太平洋戦争も終わりに近い1944年、このベバリッジ報告を日本の学者がなんとしてでも

手にいれたい。なぜならば、この戦いは必ず負ける、さすれば、戦後の再建のための資料として、何としても是非入手したいと努力するのですが、英国は交戦国のため成功しません。やむを得ず中立国に手をまわして当時の軍部に知られないよう苦心惨憺の末極秘裡にやっと手にいれるのですが、いざ翻訳するとき**(Children's Allowance)**という意味が理解できなかつたようです。現在ならば「**児童手当**」とゆう概念は誰でもたやすくうけいられるのですが、敗戦の色濃い当時、竹槍を持ち、食うや食わずの泥沼の生活のなかで、福祉など遠い世界であった環境では、このChildren's Allowanceという言葉の具体的な意味はなかなか理解ができなかつたという笑えぬ話があつたようです(大河内一男、横山和彦)。

このベバリッジプランは**英国すべての国民にたいし「ゆりかごから墓場まで」福祉のネットワークをかぶせよう**とするのですから、まさに画期的といえます。

英国では当時の首相チャーチルが第二次世界大戦後の経済再建に2、3年かかるとしてこのベバリッジプランの実施はその後で、としました

が、一方労働党のアトリーはただちに実施を訴えました。英国民の選択は選挙において、戦勝の功績者保守党チャーチルを見事に落選させ、ベバリッジプランを早期に実施する労働党アトリーを新しい首相に選んだのです。

ヨーロッパを中心に(福祉国家)の黄金時代の幕開けとなります。

この(福祉国家)の意味するものは、ケインズ経済学に裏打ちされており、「ケインズ主義的福祉国家」**Keynesian Welfare States**。と呼ばれるもので日本も例外ではありません。

ケインズ経済学のポイントは、公共事業による、雇用と消費の拡大であり、もうひとつは、政府による金融管理が大きな柱となっています。が、我が国戦後の経済運営はこのケインズ経済学の実践であったといえましょう。

戦後のわが国の目覚しい経済発展は、「経済成長と福祉の両立」と言った**ケイジアンコンセンサス「ケインズの国民合意」**の波に乗って、(福祉)の充実が図られるようになりました。とは言うもののわが国の(社会福祉)は、**欧米のそれより10年**

以上の遅れがあるといわれています。

やがて、1973年の「オイルショック」によって、西欧諸国では、消費の拡大に歯止めがかかり、経済の停頓からくる「高福祉、高負担」の社会福祉政策の見直しが図られるようになりましたが、「オイルショック」を最小限に抑えたといわれるわが国では、曲がりなりにも**(福祉国家)への前進の努力**が続けられました。

私の職業である医療界においても、少子高齢化の波は老人医療費の高騰を呼び、毎年一兆円ずつ増加する老人医療費対策が問題となっていますが、平均寿命で男女共に世界一を続けている事実をみると、財政問題だけで老人医療、老人福祉を議論すると、大きな危険があることを理解しなければなりません。

わが国の福祉政策のなかでとりあげられるべきは、老人福祉の領域で平成12年からスタートした「介護保険」をあげなければなりません。が、次号では西欧の福祉と日本の実情を比較してみたいと思います。(以下、次号、12月号に続きます)



施無畏という題字に寄せて

(医事新報に依頼され昨年書いた随筆の文章を題字の解説と致します。)

矢野 亨 日本学校保健会長



昨年から四国八十八箇所を回る計画を立てた。

旧制高校の頃、私は結核で休学を繰り返していたが、健康に良いはずだといって私を座禅に誘ってくれた教授がいた。動物学の教授で、後に信州大学学長になられた故池田雄一郎先生である。

その先生が、ふと「一生のう

ち四国八十八箇所を回りたいと思っているが一緒に回らんかね」と言われた。私は思わず「よし、行きましょ」と、安請け合いをしたことが未だに心に残っている。古武士の風格を持った教授はすでに亡く、以来60年近い空白が残った。今年5月の連休を利用して伊予を回った。

標題の「施無畏」は、六十五番札所、川之江市の三角寺で見つけた。堂宇の正面に掲げられていた大きな扁額の雄渾な文字であった。何と読むのか迷った。施すに畏れなしとでも読むのか。

昨今何かと寄付の依頼が多いが、凡夫の常として、「もう少し多い寄付をしてあげればよかった」とか、「あんな多額を寄付しなければ今これが買



えたのに」とか、内心後悔することが多い。「施無畏」とは私への戒告にピッタリだと考えた。しかし、出典を調べると密教の言葉で「衆生の怖畏を除き憂患を消して無畏を施す」だそうである。しかし、私にとっては「施すに畏れなし」のほうが性に合っている。今はこれでいこうと考えている。



強調月間に因んで



「ロータリー-財団月間によせて」

R I 第 2 8 4 0 地区

ロータリー-財団委員長 **秋間良憲** (前橋東 RC)

ロータリー-財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。

今年度2つの財団募金計画、即ち、年次プログラム基金、及び「約束を守ろう、ポリオをなくそう」募金活動計画を支援することが要請されております。

年次プログラム基金が全ての財団プログラムに資金を充当する礎石であることを忘れてはなりません。寄付金は毎年使われますので、資金を継続して充当していく必要があります。私たちが今年度の年次プログラム、基金の目標額、米貨6300万ドルを達成するために、全てのロータリアンが毎年年次プログラム基金に対して、年次寄付額米貨100ドルあるいは、それ以上を行うよう要請されておりロータリー創設100周年である西暦2005年迄一人当り米貨100ドルの年次寄付の協力をお願い致します。

「ポリオ撲滅キャンペーン」

ロータリー-財団のポリオプラスプログラム基金は、ロータリーのポリオとの闘いのための主要な財政的援助源です。この基金はポリオ撲滅優先国における戸別訪問のワクチン接種や全国予防接種日など、大規模なポリオ撲滅活動の最も重要な部分を支援します。

2005年度までに世界のポリオ撲滅をするた

めの最終段階にあるこの時期にロータリアンの皆様より米貨150ドルの支援をお願い致します。

財団寄付の使い道

1年間の一般寄付総合計の内40%は国際財団活動資金として、財団本部の直轄プログラムに使われ、60%は地区財団活動資金として使われます。

今年度の地区財団活動資金(DDF)は、寄付年度2000-2001 配分年度2001-2002 選考年度2002-2003 プログラム年度2003-2004で次の通りです。

1.教育的分野	
1学年度国際親善奨学金 3名	US\$75,000
2学年度マルチイヤ-奨学金 2名	US\$48,000
小計	US\$123,000
2.人道的分野	
同額補助金	US\$20,000
世界社会奉仕助成金	US\$3,000
ポリオプラスパートナー	US\$13,000
災害救援	US\$10,000
小計	US\$46,000
合計	US\$169,000



I・M開催報告

群馬第3分区IM開催報告

第2840地区第3分区

アシスタントガバナー

小林 弘(高崎シンフォニー)

木の葉のそよぎに秋を感じる9月21日高崎サンパレスにおいて、第3分区IMを開催いたしましたところ、13クラブより260名の参加登録をいただき、ゼネラルリーダーとして重田政信パストガバナーを始め各クラブより経験豊富なリーダー、サブリーダー12名を選出していただき、開催式は厳粛の内に進められました。今回は矢野ガバナーの基本方針である、四つの強調事項に絞り、近隣クラブの会員が相集い、4分科会において、情報及び意見交換、体験発表等、活発な議論が行われ、相互の親睦を深めた、大変に有意義なIMとなりました。詳細に関しましては後日、報告書にてご報告申し上げます。

第3分区IM第1分科会

リーダー 永崎 雅信

第1分科会はテーマ「会員増強と退会防止」を掲げて情報交換を行った。最初にリーダーより昨年度の高崎南RCにおける会員増強の話があり、10名新会員を増強したが、退会会員7名あり、その内4名は景気の低迷により、事業所の閉鎖、会社経営の危機により止むを得ず退会する事になった。結局3名の増強で終わった。次に竹内サブリーダーより退会防止を防ぐ話があった。新会員には特に説明会を開いてロタリ-を早く理解して頂く努力をしているとの事であった。次に新井サブリーダーより新クラブ設立の苦労話をして頂いた。新クラブ名は富岡・かぶらRCと名称決定して、新会員27名で10月半ばに創立総会を開催するとの報告があった。新クラブが出来る事は

大変嬉しい事で私達も新しい仲間を歓迎したいと思う。

次に第3分区の全RCから1.会員数報告 2.会員増強月間にどのような方法で取り組まれたか? 3.7月1日~9月10日の間に退会会員がいたかどうか?を発表して頂いた。

1. 会員数報告

RC名	7月1日会員数	9月10日会員数	増強数	内女性
高崎	71	77	6	0
高崎南	73	77	4	3
富岡	56	57	1	3
藤岡	59	59	0	2
安中	36	36	0	0
高崎北	64	64	0	0
藤岡北	20	20	0	1
高崎東	61	63	2	0
富岡中央	51	50	-1	0
碓氷安中	30	30	0	3
高崎セントラル	42	44	2	0
藤岡南	42	39	-3	9
高崎シンフォニー	52	52	0	3
合計数	657	668	11	24

2. 会員増強月間並びに退会会員の件

会員増強月間には各RCが卓話をしたり、推薦者カードを配布したりして積極的に増強している話があった。又、退会会員は全体で4名いたが新しいクラブにおいて退会しており、勧誘の方法に問題があるとの事であった。全体的には楽しいクラブ、楽しい例会、明るいクラブを目指して活動している報告が多かった。有意義な意見交換が出来たと思っ

ています。

第2分科会

リーダー 角皆 良弥

テーマが、「国際奉仕、国際貢献」であって広範なテーマでありましたが、セッションの成否は計画し、実行にあると思ひ、13RC どちらのクラブでも取り上げられるものと考えて、WCS、友情交換、姉妹友好クラブの3点に絞ったテーマと致して、今井サブリーダーより、WCS、同額補助金の運用方法等について説明をして、出席会員には、充分ご理解が預けたと思ひます。これに関して、現地の写真を回覧して、事例発表を頂きました。

友情交換では、台湾との交流の詳細な事例発表を頂き、続いて周藤サブリーダーより友好姉妹クラブの締結状態の報告あり、当分区では、高崎、高崎南、藤岡北、高崎北の4クラブが7RCと交流を深める内、しばし、停滞しているクラブも有るとの事、事例発表が当初の予定数より増して、活気溢れる会となり、WCSには、藤岡北RCが計画中との力強い発言あり、心強く感じ後に続くクラブが出来る事を期待して、報告と致します。

第3分科会報告

リーダー 野口 豊

R財団、米山奨学への協力は、寄付による活動参加と現地における活動参加に大別され、先ずR財団、米山奨学への制度、趣旨の理解が不可欠であり、制度・趣旨の概説がなされ、次に、現地における活動参加の具体的現われとして2人の奨学生による日本、RCの印象、抱負の報告がなされました。更に、寄付による活動参加では、寄付額の高いクラブから、ニコニコBOXからの一部寄付金をR財団、米山奨学への振り分け。各強化月間には個別

に寄付を募る。強化月間に限らず、隔週毎に財団又は米山奨学をPRして寄付を募る等の工夫をしている報告がありました。途中、重田政信ゼネラルリーダーから、奨学生や会員に接するときは、「心(慈愛)をもって接して欲しい」との助言がありました。厳しい経済環境の下で、寄付を集めるのに各クラブが如何に苦悩しているかが滲み出た分科会の雰囲気であったのが、強く印象に残りました。

第4分科会

リーダー 吉井 良弘

テーマ「教育への取り組みと新世代委員会の充実」子ども奉仕委員会の新設
分科会では3つの議題をもって話し合いが進められた。

最初に「新世代委員会として各クラブがどんな活動を実施しているのか」報告することにより、活動の把握、そして活動の滑性化を求めた。

次に、「インター・アクト・ローター・アクトの活動状況」を議題とした。第3分区13ローターの中で、インター・3・ローター・3があるが、意見の中心は、各アクトメンバーの集まりが良くない・減少している、との声が多かった。その原因として、「仕事の関係・学校クラブ等の関係で出席できず」「他の楽しい集まり、自分が関与する会を優先して出席している」「この世代のメンバーは群れることを好まない」「参加しても面白くない」があるようだ。あるアクトは、会社から言われ仕方なく会に出席しているが「大変つらい」と述べたと言う。このアクト活動を活性化し広げて行くには、このあたりを考えて行かなければならない。今の活動が、はたして「彼らのニーズに合っているのだろうか」と話し合われた。

最後に、こども奉仕委員会新設によつての



活動状況と今後の委員会の在り方」を議題とした。こども奉仕体験作文コンクール応募の実施については、高崎市内6ロータリーの委員が事前に集まり、各学校へ依頼することにより、かなりの成果を上げることが出来たと紹介された。今後の委員会活動は、新しい委員会でもあるので、第3分区の委員会メンバーが時には集まり、合同で委員会の在り方を考えて行こうではないかとの声が出た。

第3分区 IM ゼネラルリーダー-ダ-講評

素晴らしいIMを拝見いたしました。このようなイベントは主催者と参加者との共同作品であります。本日はその両者の努力が見事にマッチして、立派な成果を挙げる事が出来ましたこととはご同慶の至りであります。

このIMの画期的な意味は、4つの分科会が矢野ガバナーの強調事項を主題として構成され、従来の縦割り型を離れて、横の連携が重視されたことでありましょう。この新しいIM方式も大成功を収めました。

第1分科会では、来年度の増強に備えて、会長エレクトが参加されたのは当然として、特にこの分科会にSAAが参加されたことに大きな意義があると思います。SAAはクラブ役員であって委員会構成には所属しないため、今までこうした会議には招かれることが少なかったのですが、ロータリーの基本である例会の楽しさはSAAのご努力に負うところが大きく、クラブの重鎮としてのSAAの役割はもっと大きく評価されるべきであります。

本日、IMに参加されて得られた成果を、是非クラブにお持ちになり、有効利用されますことを心から期待いたします。

最後に、小林アシスタント・ガバナー、並びに福田会長、佐藤実行委員長さんを始めとす

る高崎シンフォニーRCの皆様の、献身的なご尽力と、参加者各位の熱心なご協力に改めて御礼申し上げ、ゼネラルリーダー-ダ-講評に代えさせていただきます。

群馬第4分区 IM開催報告

第4分区アシスタントガバナー

須永 武兵

ホストクラブ 新田 RC

群馬第4分区IMが9月14日、高木貞一郎パストガバナーをゼネラルリーダー-ダ-に迎え、準備段階より適切なご指導を頂き冠稲荷の森ティアラグリーンパレスに於いて、分区内10クラブ239名の出席を頂いて盛大に開催する事が出来ました。ピチャイ・ラタクルRI会長のメッセージ親愛なる皆様へとして、2002～03年度ロータリアンに向かって私の願いは、正に「慈愛の種を播きましょう」この一語ですと申し、また矢野ガバナーメッセージ「慈愛の心で行動を」慈愛の種は自らの心の中に育て、自らの周辺に播きましょう。行動は、マンネリ化されたトップダウン方式を除去し、草の根レベルのボトムアップ方式によるクラブの原点を再考しましょう。此の指針を基本理念として分科会は矢野年度特別強調事項をテーマにした3分科会に設定いたしました。

第1分科会

会員増強と退会防止、入会式を重視し新会員に十分な情報を。新クラブ結成と女性会員

カウンセラー 新井 良雄（太田南RC）

リーダー 内田 年一（館林西RC）

サブリーダー 津久井征一（太田南RC）

サブリーダー 荻野 栄（新田RC）

第2分科会

教育の取り組みと新世代委員会の充実。こども奉仕委員会の新設

カウンセラー 川生 宏
(館林ミレニアムRC)

リーダー 飯村 喜良(館林RC)

サブリーダー 新井 二男(太田西RC)

サブリーダー 金井 伴幸(太田中央RC)

第3分科会

慈愛を持って意義あるクラブライフを。ロータリー・財団・米山奨学への協力

カウンセラー 野辺 昌弘(館林RC)

リーダー 槻岡 道夫(大泉RC)

サブリーダー 伊藤 良三
(館林ミレニアムRC)

サブリーダー 鎌田貴一郎(館林東RC)

各分科会も、カウンセラー、リーダー、サブリーダーの下に進められ、共に豊饒な知識と経験をもつロータリアンによる意見百出、ロータリーの要諦も得られ有意義なIMとする事が出来たと思います。

終了後全体会にて、各リーダー、カウンセラーによる分科会ごとの報告があり、最後に高木ゼネラルリーダーの講評に概ねIMの所期の目的は達せられた事であろうとのお言葉を頂く事が出来ました。

最後IMの2部として、懇親会にうつりましたが、"大いに語ろう懇親会"をテーマにアトラクション等もあり、大変な盛り上がりで楽しい熱い友情交換、情報交換の場と変わり、実りある有意義な一日でありました。

最後に、参加頂いたすべてのロータリアン、新田RC実行委員の皆さんの労に感謝申し上げます。

群馬第5分区IM開催報告

第4分区アシスタントガバナー
船曳 甫(渋川RC)

第5分区のIMが2002年9月15日(日)渋川プリオパレスに於いて、それぞれ盛大に感激をもって開催されました。

第5分区IMは、最近の流れとして分科会方式ではなく、その年度のメインテーマに添った基調講演を中心とした全体会方式で行われました。

参加クラブ第5分区7つのRCから夫々沢山の会員の御出席を得まして、賑やかに行われました。ただ、水上RCは2人の参加申し込みがあつたのですが、当日は誰も来られませんでした。残念です。

先ず、午後13時30分から14時まで30分間、開会式で幕を開けました。

10分間の休憩の後、14時10分から15時30分まで80分間、全体会が行われました。

先ず、ゼネラルリーダーとして、直前ガバナーの清章司さんから御挨拶を戴きました。

そして、本日のメインである基調講演として、「慈愛の心」という題で、小田原にある曹洞宗大雄山最乗寺山主、石附周行師のお話を1時間お聴きしました。本年度のRI会長のメッセージである「慈愛の種を播きましょう」と関わりがある慈愛について、色々お話をして下さいました。

その中で、後楽園の後楽について、本当の楽しみは、苦労してでもつくっても、一生懸命に行動した後で得られるものだと云う事。そして、もう一つ、地獄、極楽の話が印象に残って良かったと思われました。地獄の国での食事を観ましたら、各々が長い箸を使って懸命にガツガツ食べ物を食べ



委員会報告

ようとするのですが、途中で食べ物が落ちてしまいなかなか、口まで持って来られない。それで地獄の人々はみんな痩せてがりがりである。

一方、極楽の国へ行ってみたら、人々皆がゆったりして、適度に肥えていて楽しそうに食事をしている。よく見たら、地獄と同じ長い箸を使っているのですが、その箸でつかんだ食物を自分ではなく他人の口に運んでいるのです。だから、食物は落ちる事なく上手に相手の人が食べられる。ということです。

基調講演のあと、各クラブからロータリー活動について意見発表がありました。1クラブ数分間の割当てですが、今年度の矢野ガバナーの4つの強調事項を夫々に取り上げて発表しました。「財団、米山への協力」「こども奉仕委員会の新設」「会員増強と退会防止」等についてです。

次いで10分間の休憩のあと、15時40分から30分間閉会式が行われました。ゼネラルリーダー清章司さんの総括では、大変お褒めの言葉を頂戴致しました。

そして、又、10分間の休憩で会場を変更移動して、16時20分から30分、歓迎ミニコンサートとして、「歌とトークの楽しい一時」ソプラノ歌手、森永一衣さんの素晴らしい歌を聴きました。きれいなよく透る音声で、オペラのアリア等、数曲の歌、そして合間にイタリアにおける面白い話等を披露しました。会場の皆さんは大変静かにその雰囲気心からのめりこむ様に聴きほれていました。

17時から懇親会となりました。近隣クラブとの親睦と情報交換を図るメインの楽しい集いの時間です。数名の地元の楽団の演奏も加わり、賑やかに楽しく交流が行わ

れました。1時間半近くにわたり、途中で帰る人も殆どなく、最後に輪になって、「手に手をつないで」を多勢で手を振りあって、名残りつきない会を閉会しました。

大変充実した楽しい、そして実のある勉強会、情報交換を持って、素晴らしいIMであったと思われま

米山奨学委員会 奨学生募集要項説明会報告



開催日・時間：

2002年9月30日

午後3時30分～5時

懇親会5時～6時

会場：於東急イン

出席者：高木貞一郎米山奨学会理事、清章司米山奨学会評議員、矢野亨ガバナー、森田均ガバナーエレクト、横山公一米山奨学委員長、野辺昌弘米山増進委員長、堀口靖之増進委員、鈴木海祐増進委員、根本正則地区幹事、片貝良一地区副幹事、戸鹿野栄一次年度地区副幹事、共愛学園前橋国際大学 池田均、群馬大学 原和貴、奥澤千鶴 県立女子大学、藤沼克啓 高崎経済大学、狩野千恵美 前橋工科大学

報告事項

説明会次第

- 1、開会 片貝地区副幹事
- 2、ガバナー挨拶 矢野ガバナー
- 3、国際ロータリーについて 清評議員
- 4、米山記念奨学会について 高木理事
- 5、募集要項について 横山委員長
- 6、質疑応答
- 7、閉会 森田ガバナーエレクト

米山奨学生の受け入れについては大学事務局は承知いただいているが、国際ロータリー及び米山記念奨学会についてはほとんど理解されていないようであるので、今年度の募集要項説明会の中で、これらを十分ご理解頂いたうえで奨学生応募者をご推薦願いたいとの説明を高木理事、清評議員が行った。要項の説明を横山委員長が丁寧に行った。質疑応答は各大学とも米山奨学委員会には感謝の意を表した後、様々な質問をされ、各出席者が応答した。懇親会では、説明会では質問しにくい個別の質問も出され、これに応答する中で、米山委員会メンバーと大学事務局員の相互理解が深まり、有意義な懇親会であった。

(米山奨学担当副幹事 片貝良一記)

GSE 委員長 為谷 福一

GSE 委員 川堀 良治

地区幹事 根本 正則

地区副幹事 下井田 秀一

地区副幹事 正田 恵一 (7名)

1. 開会
2. ガバナー挨拶 矢野 亨
3. 委員長挨拶
R 財団委員長 秋間 良憲
4. 議題
 - 1) GSE 派遣メンバーについて
 - 2) その他
5. 閉会

報告事項

選考の上、GSE 派遣メンバーは、希望の家療育病院 高橋哲也さんに決定致しました。



国際ロータリー第2840地区 2002～03年度

GSE 研修メンバー選考会

開催日・時間：2002年10月7日(月)
15:00～

場所 矢野ガバナー事務所 会議室

出席者 (敬称略)

ガバナー 矢野 亨

R財団委員長 秋間 良憲



新会員紹介



前橋西ロータリークラブ
入会日：2002年6月1日
職業分類：歯科医
勤務先：長島歯科医院
役職：院長
推薦者：田村誠夫

長島 明



前橋ロータリークラブ
入会年月日：2002年9月17日
職業分類：郵政事業
勤務先：前橋中央郵便局
役職：局長
推薦者：大林正夫

小林 正雄



群馬境ロータリークラブ
入会日：平成14年7月5日
職業分類：商業銀行
勤務先：群馬銀行境支店
役職：支店長
推薦者：田部井佐平 天田康雄

秋山 正則



館林ロータリークラブ
入会日：平成14年8月30日
職業分類：貯蓄銀行
勤務先：足利銀行館林支店
役職：支店長
推薦者：松本耕司 三宅正俊

坂本 多



館林ロータリークラブ
入会日：平成14年8月30日
職業分類：商業銀行
勤務先：群馬銀行館林支店
役職：支店長
推薦者：木暮雅丈 原初次

山口 一夫

.....
日本事務局 R 財団室 より

business portal の使い方が分からない、という問い合わせが沢山来ていますので、くどいようですが、もう一度説明します。クラブも同じように開けます。

ロータリーのホームページを開きます。
<http://www.rotary.org/>

次に左上の Rotary Business Portal をクリックします。

既に登録済みの方は
Username と password を入れて下さい。それ

で矢印をクリックして下さい。
次に左側にある contribution などをクリックすれば必要な情報が得られます。

初めて登録する方は
Username と password を無視し、District Number , Club Number , Membership ID を入れて下さい。
そして矢印をクリックします。

次の画面であなたの氏名が出ますので OK します。数分のうちにあなたの Username と password が e-mail で通知されます。

大変簡単で、自分の寄付記録が出せます。

クラブ会長と幹事はクラブの記録が出せ
ます。

地区ガバナーとガバナー・エレクトは地区
の記録が出せます。

今までmonthly contribution report と
club recognition summaryが遅いという声
がありましたが、自分で簡単に出すことが

できますし、ロータリー事務局は以後こう
いった資料を自動的に地区に送付するこ
とをいたしませんので、ご協力お願いします。

どうしても無理な地区には日本事務局から
郵送しますが、ぜひ、この方法で最新の寄
付記録を入手して下さい。

既にご利用されている方、くどくど申し上
げてすみません。 (片岡暎子)

..... 文 庫 通 信 (181号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室
です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備え
ております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料については
コピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご
活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩ロータリアンの主張から

- 「ロータリーの良さ」 山本爲三郎 ロータリーの友：1954・5月 1p
- 「ロータリーは何故必要か」 絹川清 ロータリーの友：1954・12月 1p
- 「ロータリアンになってどんな得(とく)があるか?(1)(2)(3)」 茂地庵 ロータリーの友：
1953・10・11・12月 5p
- 「会員はクラブの事業に対してどの程度の責任を負うか<シンポジウム>」
ロータリーの友：1962・6月 2p
- 「ロータリー精神の探求」 長瀬富郎 ロータリーの友：1956・4月 2p
- 「ロータリーの質と量について いまやロータリーの原石を磨くとき」 直木太一郎 ロータリーの友：
1960・8月 2p
- 「ロータリーの質と量について 質と量はロータリーの車の両輪」 柏原孫左衛門 ロータリーの友：1
960・8月 2p
- 「心の温かさこそロータリーの推進力」 松本兼二郎 ロータリーの友 1973・6月 4p
- 「指導者道 - 愛はおしみなく - 」 佐々木統一郎 1973 3p
- 「口あいてはらわたみせあう柘榴かな」 今田 恵(ききて 富永賢吉)
ロータリーの友：1968・3月 4p

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL. (03) 3433-6456 FAX. (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

.....

第 2 8 4 0 地区 2 0 0 2 年 9 月 出席 報告

クラブ数	会員数				
	9月初	9月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,377	2,375	-2	52	87.80

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性		
第1分地区	前橋	4	94.67	98	98	0	0	第3分地区	高崎東	4	92.91	63	63	0	0
	前橋西	4	98.93	70	69	-1	0		富岡中央	4	89.51	49	48	-1	0
	前橋東	4	87.28	72	72	0	0		高崎シソフォニー	4	84.90	52	51	-1	3
	前橋北	3	89.41	63	63	0	2		碓氷安中	4	74.45	30	31	1	3
	前橋南	4	89.64	40	41	1	0		高崎セントラル	4	85.89	44	44	0	0
	前橋中央	4	81.08	43	42	-1	4		藤岡南	4	85.26	39	38	-1	5
	合計(6クラブ)		90.17	386	385	-1	6		合計(13クラブ)		87.51	665	664	-1	20
第2分地区	桐生	3	86.31	71	72	1	0	第4分地区	太田	4	87.78	99	99	0	0
	伊勢崎	4	85.45	74	74	0	0		館林	4	88.31	60	61	1	0
	桐生南	4	83.33	53	53	0	1		大泉	4	88.80	53	53	0	2
	群馬境	3	81.48	51	51	0	3		太田西	4	82.40	41	41	0	1
	桐生西	4	94.90	68	68	0	0		太田南	6	83.73	56	56	0	0
	伊勢崎中央	3	97.68	62	62	0	0		館林西	4	85.12	23	23	0	0
	伊勢崎南	4	86.31	42	42	0	1		新田	4	93.34	37	37	0	0
	桐生中央	4	83.76	41	41	0	5		館林東	4	88.33	32	32	0	1
	伊勢崎東	2	85.90	39	39	0	1		太田中央	5	85.00	36	36	0	3
	桐生赤城	4	95.93	43	44	1	2		館林ミニアム	4	88.40	31	32	1	0
	合計(10クラブ)		88.11	544	546	2	13		合計(10クラブ)		87.12	468	470	2	7
第3分地区	高崎	3	88.37	77	77	0	0	第5分地区	渋川	4	95.73	75	72	-3	2
	高崎南	4	92.99	75	76	1	3		沼田	3	90.74	60	59	-1	0
	富岡	4	99.07	57	57	0	3		草津	4	90.13	26	26	0	1
	藤岡	4	91.67	59	59	0	2		水上	4	77.70	9	9	0	0
	安中	4	77.77	36	36	0	0		中之条	4	88.46	30	30	0	1
	高崎北	4	85.19	64	64	0	0		沼田中央	4	83.97	67	67	0	0
	藤岡北	4	89.70	20	20	0	1		渋川みどり	4	81.11	47	47	0	2
	合計(7クラブ)		86.83	314	310	-4	6		合計(7クラブ)		86.83	314	310	-4	6

公式訪問・行事予定

11月の公式訪問予定

- 11月11日 伊勢崎東
- 11月13日 伊勢崎
- 11月14日 伊勢崎中央
- 11月15日 桐生西
- 11月18日 桐生
- 11月19日 伊勢崎南
- 11月20日 桐生南
- 11月21日 桐生中央
- 11月26日 桐生赤城

11月の行事予定

- 11月16日 D2770 地区大会
- 11月17日 職業奉仕セミナー
- 11月24日 リーダーシップセミナー
- 11月28日 ロータリー財団地域セミナー
- 11月29日 第2回GETS、ガバナー会
- 11月30日 ロータリー・ゾーン研究会
- 12月1日 ロータリー・ゾーン研究会

**11月のロータリー・レートは
1ドル 120円です**